



みずたに

9月号

令和8年8月25日

子ども達の安全・安心を第一に

校長 大竹 宏治

夏休み期間中は、地震、ゲリラ豪雨、度重なる台風の到来などによる自然災害のニュースが毎日のように報道され、改めて防災の大切さを実感させられました。

本校でもいざという時に備え、計画的に避難訓練、ショート訓練、引き渡し訓練等を実施しております。1学期行いました引き渡し訓練も実際に起きることを想定し、子ども達全員を確実に引き渡せるように見直すとともに、再度、保護者の皆様にも引き渡し者の確認をお願いしたところです。

2学期におきましては、管理職と担当者のみ内容を把握するシークレット訓練を実施し、どんな時でも対応できる態勢を整えていきたいと考えております。

また、防犯の観点からも最悪の状況を想定し、対応しているところです。先月には警察からの不審者情報を受け、学年主任を緊急招集し、原則校舎外での活動を禁止、校外から侵入されないよう各扉・窓等を完全に閉鎖するよう指示を出すとともに、侵入される可能性のある箇所には教員を配置し、子ども達の安全確保に努めたところです。結果的に数十分の間に事態が収束し、保護者の方々への連絡や引き渡しを行うまでの状況には至りませんでした。今後も学校では子ども達の安全を第一に考え、最善を尽くしてまいります。

地域・保護者の皆様には登下校時に見守りを行っていただいておりますが、今後もできる範囲でお願いできると幸いです。

9月1日は防災の日です。ご家庭におきましても「防災」はもとより、「防犯」についても話題にしていいただき、お子さんと一緒に放課後・休日での外出時の対応、連絡方法等を今一度確認していただきますようお願いいたします。

2学期以降も子ども達が安全に、安心して生活でき、充実した日々が送れますよう皆様のご支援ご協力をお願いいたします。